

2025. 8. 31



山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

（電話：083-924-2113 FAX：083-932-2817

Eメール：a50401@pref. yamaguchi. lg. jp）

【メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！】

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

*各イベントの詳細については、当センターのホームページよりご確認ください。 →



★「幼児のためのおはなし会」（毎月第一火曜日）

○日時：令和7年9月9日（火）10月7日（火） 11：00～11：20

○会場：山口県立山口図書館 第2研修室 ○対象：幼児 ○定員：10組程度

★令和7年度 乳幼児期からの読書応援事業（親子セミナー）

○日時：令和7年10月25日（土）13：00～14：30（受付12：30～）*イベント終了後サイン会あり

*当日「とよたかずひこ」氏の著書を持参の場合のみ、一人1冊までサインあり。

○会場：山口県教育会館 1階 第5研修室

○講師：とよた かずひこ 氏（絵本作家）

○演題：『ももんちゃんとおそぼう in やまぐち』～絵本と紙芝居の世界を親子で楽しみましょう～

○内容：絵本作家による絵本や紙芝居の実演

絵本を通してふれあいの楽しさを伝える講話（実演の中に含む）

○対象：乳幼児とその保護者（兄弟の参加も可）

○定員：60名程度（同伴者の人数も含む）

○参加費：無料

○申込方法：10月10日（金）までに、電子申請（下記URL）または右記二次元コード ⇒

<https://shinsei.pref.yamaguchi.lg.jp/FE0Z0KWq>

*応募多数の場合は抽選。参加の可否等については、10月17日（金）までにメールで送信。

連絡がない場合は、下記問い合わせまでご連絡を。

○このイベントの問い合わせ先：山口県教育庁地域連携教育推進課 担当：新内

電話 083-933-4650 メール a50400@pref.yamaguchi.lg.jp



【新刊紹介】価格は消費税抜き

<絵本－乳幼児から>

『いちにのさん!』 スギヤマカナヨ/作 童心社 2025.7 ¥1200

じぶんのことばで「いちにのさん!」をいってみよう。なにがおこるかな。日韓中英に加え、ベトナム語・フィリピン語・ポルトガル語・ネパール語・スペイン語の計9言語が併記された多言語絵本。9色の文字は絵に合わせて配置も工夫され、イラストの一部のように楽しめる。巻末に各ページの文字の読み方、奥付に手話による読み聞かせ動画等へアクセスできる二次元コードあり。

<絵本－3, 4歳から>

『しってた?』 二宮由紀子/文 井上コトリ/絵 BL出版 2025.6 ¥1600

きみはしってたかな、このきんぎょのおとうさんがぞうだってこと。それに、ものすごくおなかがすいてるぞうはもりを6つくらいたべることや、ぞうにたべられたくないもりは、へんそうしてもりじゃないふりをするこも。じゃあ、もりをひとつもたべられなかったら、ぞうがなにをたべるかっていうとね…。読者に語りかけるような口調で独特な世界観へ引き込むナンセンス絵本。

<絵本－5, 6歳から>

『きたよきたよきせつのこ』 杉本深由起/作 吉田尚令/絵 あかね書房 2025.6 ¥1600

のはらのおおきなさくらのきは、きせつのこがやってくるのをまっている。わすれものめいじんのはるこさん、はやおきのなつおくん、しずけさがすきなあきえさん、いたずらっこなふゆたくん。きせつはまわり、さくらのつぼみがまたふくらみはじめて…。フランス生まれの「シネボエム」形式で書かれた、四季折々の素朴な美しさを詠う詩を、あたたかみのあるちぎり絵が彩る絵本。

<絵本－小学校中学年から>

『うさぎのしま』 近藤えり・たてのひろし/作 世界文化社 2025.6 ¥1800

たくさんのうさぎがすむしまにきて、えさをやる人たち。ふと、白いうさぎをみつけて…。野生化したカイウサギが多く生息し「うさぎの島」と呼ばれる瀬戸内海の大久野島を舞台に、人類の過去と未来を鋭く見つめる絵本。1羽の白ウサギの

眼差しが、今なお島の環境や人々に影響を及ぼしている戦時中の毒ガス製造の光景を呼び起こす。巻末に大久野島とうさぎについての解説あり。

<絵本—中学生から>

『月夜の浜辺』 中原中也/詩 浅田弘幸/漫画 ワニマガジン社 2025.5 ¥1800

中原中也の作品や人生に啓発された作品を数多く制作してきた漫画家、浅田弘幸による初の絵本。中也の詩「月夜の浜辺」からイメージした世界を同作が書かれた後に死別した長男・文也との思い出をもとに書かれた詩「夏の夜の博覧会」はかなしからずや」の冒頭部分を引用しながらコマ割りの絵を用いて表現している。巻末に中原中也記念館の学芸員による解説あり。

<読み物—小学校中学年から>

『じいちゃんの赤いスニーカー』 本田有明/作 しらこ/絵 佼成出版社 2025.6 ¥1500

3年生の修了式の下校中、白い杖をついた老人が転倒する場面に遭遇した翔平。内向的な翔平だが、心配になり自分から声をかけたことがきっかけで「じいちゃん」と親交を深めていく。じいちゃんからの助言や紹介される人たちとの出会いによって、自信を持ち、やりたいことに挑戦する翔平の毎日は充実したものとなり…。年齢を超えた友情に心温まる物語。

<読み物—小学校高学年から>

『君のせいだ、涙がでるのは。』 林けんじろう/著 小森夏海/絵 くもん出版 2025.6 ¥1500

祖母の葬儀に参列するため家族とともに東京から広島に向かった6年生の少女天字（たう）は蔵で祖父が10代の頃に書き付けたノートを見付ける。高台に持ち出したノートを読み始めると…。現代の天宇と、昭和20年8月の祖父の少年時代との2つの時間軸で物語が進行する。戦争に翻弄された人々を思い、過去を真摯に知り受け止めようとする少女の物語。

<読み物—中学生から>

『NO.6 再会 #1』 あさのあつこ/著 toi8/絵 講談社 2025.5 ¥1835

核兵器による放射能汚染と気候変動により荒廃し、人が住める土地はわずか6か所残りのみの近未来の地球。2年前に崩壊した都市 NO.6 で再建委員長として多忙を極める青年紫苑は、ある日、立て続けに3件の殺人事件が発生したと知り…。かつてともに行動した「ネズミ」への思いを抱える紫音とその周囲に生きる人々、紫音とネズミの再会を描く。人気シリーズの14年ぶりの新章。

<ノンフィクション—小学校低学年から>

『ゆびでたどる進化のえほん』 三上智之/監修・文 かわさきしゅんいち/絵 KADOKAWA 2025.6 ¥1900

最初は小さく単純だった生物は長い時間をかけ色々な姿に進化した。細胞が集まって大きくなり海から陸へ、空を飛べる種が出てきて、乳で育児をする種が繁栄して…。進化の歴史を、樹木のような形であらわす「系統樹」で描き、指でたどりながら読む絵本。監修は国立科学博物館特別研究員。巻末に資料リストがダウンロードできる二次元コードの掲載あり。

<ノンフィクション—小学校中学年から>

『一郎くんの写真』 木原育子/文 沢野ひとし/絵 福音館書店 2025.7 ¥1300

2014年、新聞記者である筆者のもとにアメリカの戦争について調べているグループから連絡が届いた。「一郎君へ」と書かれた日章旗の持ち主を探してほしいと。持ち主を突き止めるため、日章旗に寄せ書きされた59人の名前を手掛かりに、静岡の町を奔走する。戦後を生き抜いた人々の記憶を記したノンフィクション絵本。たくさんのふしぎ傑作集。

<ノンフィクション—小学校高学年から>

『おとうさんのポストカード』 那須田淳/著 中村真人/監修 講談社 2025.6 ¥1600

第二次世界大戦前、ユダヤ人迫害が激化したことにより、諸外国がユダヤ人の子どもを救うために行ったキンダーtransport。家族と離れて英国で暮らすことになった6歳の少年は、父親から届くポストカードを心の支えに成長した。実話にもとづいた物語。戦争を発端とした差別・迫害、移民問題について知り考えるきっかけとなる1冊。ポストカード等の写真・資料の掲載あり。

<ノンフィクション—中学生から>

『もしも君の町がガザだったら』 高橋真樹/著 ポプラ社 2025.7 ¥1800

パレスチナで起きていることを日本で生きる私たちの暮らしに置き換えると…。イスラエル政府による封鎖・攻撃下にあるガザ地区とヨルダン川西岸の現状を写真とともに伝える。また歴史や宗教等の事情も踏まえながら、パレスチナ問題の本質を植民地主義や国際法の観点から解説。巻末にパレスチナ問題に関するおすすめ本や映画、情報サイト、パレスチナ支援NGOや年表等を掲載。

<研究書>

『お年よりと絵本をひらく』 中村証子/著 福音館書店 2025.6 ¥1100

長年保育士として子どもと絵本を楽しんできた著者が、ボランティアとして高齢者デイサービスでお年よりに絵本を読んだ2年8か月の記録をまとめたエッセイ。子ども時代を思い出す絵本、季節や知識の本、図鑑、昔話など、多くの絵本と出会うことで仲間との会話が弾み、笑顔になるお年よりたちの姿が綴られる。お年よりたちの感想や様子を紹介したテーマ別ブックリストもあり。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索（OPAC）では検索できませんが、利用することは可能です。収書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。

山口県立山口図書館では、電子図書館サービスを提供しています。利用案内はこちらから→
<https://library.pref.yamaguchi.lg.jp/dlibrary/>

